

手島精管

100人超が完成祝う

新本社工場竣工式典開く



手島社長

注射針用精密ステンレスパイプなどの製造を手がける手島精管(手島二三男代表取締役社長、館林市下早川田町306-1 ☎0276-731173)の新本社工場が完成し、竣工式が9日に執り行われた。当日は館林市の安楽岡一雄市長をはじめ100人を超える出席者が駆けつけ、同社の新たな門出を祝った。主催者あいさつに

立った手島社長は「10年ほど前から計画していた本社工場と第2工場が統合した新工場が完成し感」と述べ、設計・監理を担当した国際ランド&ダイベロップメント(東京都千代田区)と工事を請け負った徳川組(鳥取町)に感謝状を贈呈した。謝辞として国際ランド&ダイベロップメントの金丸直幹社長は「新工場の設計にあたっては、いままでの2工場を統合し効率化すること、従業員が働きやすい環境、快適性を整えること、環境に配慮した省エネでの設



安楽岡市長



又野社長



金丸社長

計を行うことこの3点を配慮を述べ、徳川組の又野感した。6カ月という短工期であったが、皆さまに協力をいただいたこととスムーズに竣工する「ことができた」と感謝の意と精度が要求される大



完成した新本社工場(館林市下早川田町)

事な部分であり注力させ界的なブランドがこの地から出ていることは誇り御社の技術が館林から世界へ羽ばたくことを確信してまいります」と話した。来賓祝辞では安楽岡市長が「本社工場の新設にあたり、夜間に作った水を昼間の冷房用として活用するなど、環境保護にも配慮していただき大変ありがたい。また、世界的なブランドがこの地から出ていることは誇りであり、今後もさらなる発展を願っている」と話し、手島精管のさらなる発展を祈願した。新工場はS造2階建て、延べ床面積28000㎡で1階に工場機能を、2階に本社機能を有している。